

「品質管理実践」

開催日：令和6年7月26日（金）
開催日：令和6年10月16日（水）

申込期限：令和6年7月5日（金） 実施会場：ポリテクセンター延岡
申込期限：令和6年9月25日（水） 実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：品質管理の考え方を理解し、不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能を習得する。

基本項目	主な内容
1 品質管理の進め方	1) 品質管理が求められる理由 ～品質管理の重要性～ (1) お客様の視点 (2) 企業側の視点 (3) 一般社会からの視点 2) 「品質管理」と「品質保証」の違い (1) 考え方の違い (2) 時代背景の違い（繰返し生産⇒個別生産） 3) 【演習】 ～品質管理活動用語の認知度・活用度チェック～
2 品質管理活動の推進	1) 品質管理活動の基本的な進め方手順 (1) 「品質管理活動」の手順と要領 ～問題解決型とQC7つ道具～ (2) 「品質保証活動」の手順と要領 ～課題達成型と新QC7つ道具～ 2) QC品質基準の設定方法 (1) 要求品質を満足させる基準 ～QC仕様書～ (2) 作業品質を実現させる基準 ～作業標準書～ 3) 【演習】 ～問題解決型と課題達成型の比較～
3 不良・クレームゼロの実践	1) QC品質基準を現場で実現させる方法 ～品質実現～ (1) QC品質基準を伝える方法 ～帳・票・書・表～ (2) QC品質基準を実現する方法 ～OJT、Off-JT～ 2) QC品質改善向上する方法 ～品質改善～ (1) 品質「ムダ・ムラ・ムリ」を発見・改善する方法 (2) 品質改善を歯止めする方法 (3) ヒューマンエラーとの向き合い方 3) 【演習】 ～『住宅家具メーカー』の不良改善事例の考察～

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介

西水 晃 / 一般社団法人中部産業連盟



1993年から、モノづくり改善コンサルティング業務に従事。
VE(価値工学)、QE(品質工学)、PE(調達工学)、IE(生産工学)などのエンジニアリング技術を活用した実践支援活動で、30年間・200案件以上の経験を有している。これらのエンジニアリング技術やコンサルティング・ノウハウを活用して研修活動を、全国のモノづくり支援機関で推進中。

(経営士、マネジメント・コンサルタント、経営品質セルフアセッサー等)

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

業界や業種を問わず、品質マネジメントに関する普遍的で・基本的な内容を習得してもらえようカリキュラムを構成しました。品質管理や品質保証の業務に携わっている方、現在のモノづくり品質レベルを向上するためのヒントを学習された方は、是非、ご参加下さい。